H30アクションプラン　事業No. 38　上半期の振り返りと今後のアクションシート

Ⅰ.事業の基礎情報

事業名		地域医療振興事業					担当部・グループ名	福祉部　健康推進グループ				
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(11)一人ひとりの元気と健康づくりを応援します										
	こんなことに取り組みます	疾病を早期に発見し、適切な治療が受けられる「かかりつけ医」を持つよう働きかけるとともに、地域医療の充実と医療と介護の連携を推進します。										
	みんなで目指すまちづくり指標名	かかりつけ医を持っている人の割合										
		策定時の値 2017	79	実績値 2018	-	実績値 2019	-	実績値 2020	-	目標値 2021	84	(単位) %
	総合戦略	■該当する　□該当しない					予算事業名	救急医療事業				

Ⅱ.目指す姿

このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿	☆休日や夜間における救急医療体制が整備され、高度医療や入院治療が必要な患者の医療が確保されている。また、市民の医療ニーズに対応できるよう病診連携が図られ、地域医療が充実している。

Ⅲ.課題

目指す姿実現に向けた課題	①病院と診療所の役割を明確にして、市民一人ひとりがかかりつけ医を持つよう、更なる周知、情報発進が必要である。

【PLAN】

Ⅳ.目指す姿の実現に向けた4年間の工程表・事業概要

事業年度		2018(平成30年度)	2019(平成31年度)	2020(平成32年度)	2021(平成33年度)
事業計画		医科、歯科在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発
事業費総額(千円)		(当初) 8,342	(見込) 8,342	(見込) 8,342	(見込) 8,342
財源内訳	一般財源	8,342	8,342	8,342	8,342
	特定財源	0	0	0	0
特記事項					

【DO】

Ⅲと対応する課題	Ⅴ.上半期の進捗状況 目標達成のために掲げた「課題解決に向けた取り組み」とその進捗状況
①	◆市民一人ひとりがかかりつけ医を持つよう、更なる周知、情報発信を行う。
状況	子育て世代への周知を図るため、乳幼児健診でかかりつけ医の確認と推奨を行なっている。

⇓

【CHECK】

Ⅲと対応する課題	Ⅵ.上半期の取り組みから見えてきた課題 目指す姿実現に向け、これまでの取り組みから見えてきた課題
①	乳幼児健診を受けるお子さんやその家族の中にも、かかりつけ医を持たない方がいる。

⇓

【ACTION】

Ⅲと対応する課題	Ⅶ.課題解決を踏まえた今後の具体的なアクション(案) いつ・何を・どのように・どうする	
①	平成30年度下半期	乳幼児健診でのかかりつけ医の確認と推奨を継続し、子育て世代への勧奨を継続する。
	平成31～33年度	乳幼児健診でのかかりつけ医の確認と推奨を継続し、子育て世代への勧奨を継続する。
平成31年度 事業費予算	8,342千円	